

# 月刊 ゆがの通信

2012年2月号

発行：ゆがの薬局

## ロコモティブシンドロームは早めに対処 独活寄生丸で寝たきり・要介護の回避を

ロコモティブシンドロームとは

腰や膝が痛むという人は大変多く日本では一〇〇〇万人以上が腰痛や手足の関節の痛みを抱えており、年々増加する傾向にあります。高齢になると腰痛やひざの痛みにより身体を動かすのが難しくなると、寝たきりや要介護という歩行障害につながることもあります。体を動かす機能が上手く働かないことで歩行障害になった状態やそうなる危険性が高い状態を「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」といいます。私たちが動くためには「骨」「筋肉」「軟骨」「関節」「神経」などが互いに連携して働く必要があります。これらを総称して「運動器」といいます。

しなくなくなります。このような悪循環を繰り返すことで寝たきりや要介護になってしまいます。

治療、トレーニング、独活寄生丸

ロコモティブシンドロームへの対処としては問題のある運動器の治療を受けることが第一で、次に軟骨に負担をかけすぎずに筋肉や骨を強化するトレーニングを行うことが必要です。さらに漢方薬で治療・トレーニングをサポートすることができます。それが「独活寄生丸（どっかつきせいがん）」です。

独活寄生丸には、老化を遅らせ骨や筋肉を丈夫にする生薬で、骨変形による腰痛・膝痛の薬として使われてきた桑寄生（ソウキセイ）、筋肉を強くする働きがあり、腰痛に効果がある杜仲（トチユウ）、痛みを治す特效薬として使われてきた独活（ドツカツ）、血行を改善し、血液やエネルギーの流れを良くするゴシツ・当归（トウキ）・センキュウなど一六種類の生薬が配合されています。

また、独活寄生丸はただ単に痛みを取るだけでなく、元気の源である腎の働きを補う作用があることもおすすすめするポイントです。「腰は腎の府」と漢方の世界で言われるとおり、腎が衰えるとまず腰にやってきます。腎の働きを補うこと

で足腰のたるさが抜け、運動への意欲も出てくると思われれます。運動器の働きは加齢とともに衰えていきます。「治療・トレーニング・独活寄生丸」で上手に運動器を鍛え、寝たきりや要介護になることを防ぎましょう。

・クラシエ「独活寄生丸」  
六〇包（一ヶ月分） 八、四〇〇円



「独活寄生丸」についての相談、質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております。

「健康的にダイエット！」なら「マイクロダイエット」をお試ください

マイクロダイエット正規取扱店 **ゆがの薬局**



賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150  
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>